

令和2年度 府省及び関係団体 陳情書

(社会福祉法人 日本視覚障害者団体連合)

＜旅客鉄道株式会社 陳情書＞

(北海道、東日本、東海、西日本、四国、九州)

1. 早急に駅のホームドアの設置を拡大すること。視覚障害者のホームからの転落事故は、10万人未満の駅においても多数発生しているため、ホームドアの整備にあたっては、1日平均の乗降客が10万人未満であっても、視覚障害者の利用が多い、または、転落の危険性の高い駅を優先して設置すること。
2. ホームドア未整備の駅ホームにおいて内方線付き点状ブロックの敷設を徹底すること。
3. 駅構内の歩きスマホ禁止のルールの徹底と声掛け運動の継続等、視覚障害者が鉄道を安全に利用できるよう対策を講じること。
4. 鉄道駅の無人化は極力さけるとともに、既に無人になっている駅については視覚障害者が1人でも安全に利用できるよう、安全対策や支援策を講じること。
5. 電車車両の手動式開閉装置付き押しボタンの位置がわかるよう、音声案内を設置すること。また、視覚障害者が操作しやすい手動式開閉装置付き押しボタンを導入すること。
6. JRのみどりの窓口閉鎖等、対面サービスが縮小されることに伴い、みどりの券売機を視覚障害者が容易に利用できるようにすること。
7. すべての鉄道事業者において障害者割引に対応した交通系ICカードを開発し、本人・ガイド分として2枚支給すること。

8. 一部の私鉄で使用できる障害者割引に対応した交通機関係 I C カードを貴社においても使用できるようにすること。
9. 乗車券と同様に、指定席券を含む特急料金についても障害者割引を適用すること。

＜日本民営鉄道協会 陳情書＞

1. 早急に駅のホームドアの設置を拡大すること。視覚障害者のホームからの転落事故は、10万人未満の駅においても多数発生しているため、ホームドアの整備にあたっては、1日平均の乗降客が10万人未満であっても、視覚障害者の利用が多い、または、転落の危険性の高い駅を優先して設置すること。
2. ホームドア未整備の駅ホームにおいて内方線付き点状ブロックの敷設を徹底すること。
3. 駅構内の歩きスマホ禁止のルールの徹底と声掛け運動の継続等、視覚障害者が鉄道を安全に利用できるよう対策を講じること。
4. 鉄道駅の無人化は極力さけるとともに、既に無人になっている駅については視覚障害者が1人でも安全に利用できるよう、安全対策や支援策を講じること。
5. 電車車両の手動式開閉装置付き押しボタンの位置がわかるよう、音声案内を設置すること。また、視覚障害者が操作しやすい手動式開閉装置付き押しボタンを導入すること。
6. すべての鉄道事業者において障害者割引に対応した交通系 I C カードを開発し、本人・ガイド分として2枚支給すること。
7. 一部の私鉄で使用できる障害者割引に対応した交通機関係 I C カードを各社においても使用できるようにすること。
8. 乗車券と同様に、指定席券を含む特急料金についても障害者割引を適用すること。